

13 Junho de 1924 No. 348

號八十四百三第 日曜金 日三十月六年三十正大

## 日西兩報

緒を緊めよ

金に金錢の損得問題だけではなく、日本人風儀問題では東角眼につきやすい日本人風儀問題ではあるまへか。

伯國の現在は主に人類生活に、必要とされるべきからざる物品を生産する國で、世界の不景氣に延びて不景氣に遭遇しながら、世界の好景氣に出逢つた。然し好景氣は物價を勝負せしむるから、月給が苦む事なきあらざるも、農業や、都市の貧乏人やは生活に勝負を爲さんとする傾向の見ゆるは、憂ふべきである。云つて吾人は例の力も計らずに、本年の農作好景氣に不景氣を見込を付けて着手するならば、確にその洗いを耕作するも可なりであるが、行りかけて旨く行かぬからこそ、手の難びて轉々と場所を換へたり、理由なく作物を變えるが如きは、尙ら慎しまねばならぬ。

先んじて好景氣に出逢つた。然し好景氣は物價を勝負せしむるから、月給が少ないと云ふ事はないなら、結局好景氣は勞作のみが少ないと云ふ事はない。農業者は事實利益に有付得ないと云ふ事になる。

NOTÍCIAS DO BRAZIL  
Publicado semanalmente  
Rua Fagundes N. 16  
Caixa Postal N.  
Tel. Central, 8208  
S. Paulo, Brazil  
Proprietário e editor  
Seisaku Kuroishi  
Assinaturas  
por Anno 185000  
Semestre 95000  
Mês 15500  
Semana 5500

警しめんとするものである。

然しながら吾人は、來年度の棉や

米や甘蔗や、豆や、珈琲の栽培擴張する。それは不當な憎悪すべきものである。

もしそれ共國民又は彼國民の移民が

云ふ爲ではない。で評議員會はも

等を投げ入れつ、解決されんとして

その精神及智力上の特性さ、その來

歴と、その國情と關係のある復讐

の手配をしなければならないと信す

の間に於て移民問題が殆ど實際的

歐洲移民は世界何れの場所に於ても

その向上發展上より以上適した國は

界中各人種に涉り千六百人の女を觀

が、黒人だからとか白人だからとか

色々な國の、そして特に農業労働界

ないであると確言し、その移民は察した結果身體を動かす事が少ない

伯國の開發化に非常に貢献した伊

◆深く學問したり頭を非常に使つ

た、デリケートなものである。

それが我等の愛する國家組織、その

寡少な人口を有する吾人は、今は此

に暮す爲美男で女は働く爲頗る醜そ

うに、此制限には理由がないのであ

る。然しこれは其國民又は彼國民の移

民が、黑人だからとか白人だからとか

色々な國の、そして特に農業労働界

ないであると確言し、その移民は察した結果身體を動かす事が少ないのである。

伯國の開發化に非常に貢献した伊

◆深く學問したり頭を非常に使つ

た、デリケートなものである。

それが我等の愛する國家組織、その

寡少な人口を有する吾人は、今は此

に暮す爲美男で女は働く爲頗る醜そ

うに、此制限には理由がないのであ

る。然しこれは其國民又は彼國民の移

民が、黑人だからとか白人だからとか

色々な國の、そして特に農業労働界

ないであると確言し、その移民は察した結果身體を動かす事が少ないのである。

伯國の開發化に非常に貢献した伊

◆深く學問したり頭を非常に使つ

た、デリケートなものである。

それが我等の愛する國家組織、その

寡少な人口を有する吾人は、今は此

に暮す爲美男で女は働く爲頗る醜そ

うに、此制限には理由がないのであ

る。然しこれは其國民又は彼國民の移

民が、黑人だからとか白人だからとか

色々な國の、そして特に農業労働界

ないであると確言し、その移民は察した結果身體を動かす事が少ないのである。

伯國の開發化に非常に貢献した伊

◆深く學問したり頭を非常に使つ

た、デリケートなものである。

それが我等の愛する國家組織、その

寡少な人口を有する吾人は、今は此

に暮す爲美男で女は働く爲頗る醜そ

うに、此制限には理由がないのであ

る。然しこれは其國民又は彼國民の移

民が、黑人だからとか白人だからとか

色々な國の、そして特に農業労働界

ないであると確言し、その移民は察した結果身體を動かす事が少ないのである。

伯國の開發化に非常に貢献した伊

◆深く學問したり頭を非常に使つ

た、デリケートなものである。

それが我等の愛する國家組織、その

寡少な人口を有する吾人は、今は此

に暮す爲美男で女は働く爲頗る醜そ

うに、此制限には理由がないのであ

る。然しこれは其國民又は彼國民の移

民が、黑人だからとか白人だからとか

色々な國の、そして特に農業労働界

ないであると確言し、その移民は察した結果身體を動かす事が少ないのである。

伯國の開發化に非常に貢献した伊

◆深く學問したり頭を非常に使つ

た、デリケートなものである。

それが我等の愛する國家組織、その

寡少な人口を有する吾人は、今は此

に暮す爲美男で女は働く爲頗る醜そ

うに、此制限には理由がないのであ

る。然しこれは其國民又は彼國民の移

民が、黑人だからとか白人だからとか

色々な國の、そして特に農業労働界

ないであると確言し、その移民は察した結果身體を動かす事が少ないのである。

伯國の開發化に非常に貢献した伊

◆深く學問したり頭を非常に使つ

た、デリケートなものである。

それが我等の愛する國家組織、その

寡少な人口を有する吾人は、今は此

に暮す爲美男で女は働く爲頗る醜そ

うに、此制限には理由がないのであ

る。然しこれは其國民又は彼國民の移

民が、黒人だからとか白人だからとか

色々な國の、そして特に農業労働界

ないであると確言し、その移民は察した結果身體を動かす事が少ないのである。

伯國の開發化に非常に貢献した伊

◆深く學問したり頭を非常に使つ

た、デリケートなものである。

それが我等の愛する國家組織、その

寡少な人口を有する吾人は、今は此

に暮す爲美男で女は働く爲頗る醜そ

うに、此制限には理由がないのであ

る。然しこれは其國民又は彼國民の移

民が、黒人だからとか白人だからとか

色々な國の、そして特に農業労働界

ないであると確言し、その移民は察した結果身體を動かす事が少ないのである。

伯國の開發化に非常に貢献した伊

◆深く學問したり頭を非常に使つ

た、デリケートなものである。

それが我等の愛する國家組織、その

寡少な人口を有する吾人は、今は此

に暮す爲美男で女は働く爲頗る醜そ

うに、此制限には理由がないのであ

る。然しこれは其國民又は彼國民の移

民が、黒人だからとか白人だからとか

色々な國の、そして特に農業労働界

ないであると確言し、その移民は察した結果身體を動かす事が少ないのである。

伯國の開發化に非常に貢献した伊

◆深く學問したり頭を非常に使つ

た、デリケートなものである。

それが我等の愛する國家組織、その

寡少な人口を有する吾人は、今は此

に暮す爲美男で女は働く爲頗る醜そ

うに、此制限には理由がないのであ

る。然しこれは其國民又は彼國民の移

民が、黒人だからとか白人だからとか

色々な國の、そして特に農業労働界

ないであると確言し、その移民は察した結果身體を動かす事が少ないのである。

伯國の開發化に非常に貢献した伊

◆深く學問したり頭を非常に使つ

た、デリケートなものである。

それが我等の愛する國家組織、その

寡少な人口を有する吾人は、今は此

に暮す爲美男で女は働く爲頗る醜そ

うに、此制限には理由がないのであ

る。然しこれは其國民又は彼國民の移

民が、黒人だからとか白人だからとか

色々な國の、そして特に農業労働界

ないであると確言し、その移民は察した結果身體を動かす事が少ないのである。

伯國の開發化に非常に貢献した伊

◆深く學問したり頭を非常に使つ

た、デリケートなものである。

それが我等の愛する國家組織、その

寡少な人口を有する吾人は、今は此

に暮す爲美男で女は働く爲頗る醜そ

うに、





第十五回 總選舉當選 代議士一覽 (上)

大正十三年五月十日清浦内閣の下に執行

東京市(十六名) 本田義成(中) 林田鷹太郎(革) 横山勝太郎(憲) 關木益太郎(中) 田信次郎(憲) 安藤母正(中) 鈴木正雄(草) 佐藤正吉(憲) 岩崎幸治郎(本) 井坂萬造(本) 佐佐木田芳治(革)

堺市(一名) 山口義一(政) 郡部(八名) 中林友信(本) 田崎幸治(本) 佐藤正義(本) 井坂萬造(本) 佐佐木田芳治(革)

郡部(八名) 吉川正義(本) 田崎幸治(本) 佐藤正義(本) 井坂萬造(本) 佐佐木田芳治(革)

佐世保市(一名) 富田恩之助(憲)

郡部(七名) 今里草太郎(憲)

郡部(七名) 牧山耕藏(本)

郡部(七名) 今井健彦(本)

郡部(七名) 志村清右衛門(本)

郡部(七名) 土屋清三郎(政)

郡部(七名) 本田政次郎(政)

郡部(七名) 野田俊次郎(政)

郡部(七名) 向井倭喜(本)

郡部(七名) 小宮元之助(本)

郡部(七名) 千葉富士(本)

郡部(七名) 吉川兵衛(本)

郡部(七名) 佐藤喜(本)

EGREJA JAPONEZA

Rua Conde de Sarzedas, 23  
Caixa, 1114 - S. Paulo

市 教師 伊藤八十二

假會堂コンデ街廿三番

新潟市(一名) 增田義一(實)

郡部(十四名) 增田義一(實)

郡部

慣一は遠るせない心を抱いて外に出てた。たがれの野は淋しく向の山の端に淡い半片の月にも凋落の秋と思われる。此の二三日心が矢鱈にいらだつて、今まで味つた事もない精神のなやみを、どうする事も出来なかつた。空飛ぶ小鳥にも淋しさはわき、見えぬ何者にかひきつけられてちつとかんがへる時が多くなつた。

慣一が早苗を知つたのは、二年前の珈琲の實取りの時であつた。別れの紹介で知つたのだ。

彼の女は肉附の豊かな、そうして久しく逢わなかつた友を訪ねて、K町のフワゼンダに行つた、その時

人普より大きい目、すすいひさみの持主であつた。むつりとふくらみを持つた胸部、長い黒髪にも處女らの香りがみちて居た。妻に別れて淋しい生活を続けて来た慣一は、又あ

慣一は十九の春、良縁を得てせい子と結婚してから樂し、ホリーモンを夢見てブライルに來た。その愛妻の妻ははななく他界の人となる。人生の悲痛と悲惨を人一倍味つた、彼

それでも慣一は結婚しようとも思つた。慣一は心の奥に求めて居る感物を否定する事が出来なかつた。

初めて會つた早苗に恋をした彼は、丁度萬物が地獄の地軸に向つて、或大きな力でついけられる様に、心はいつも早苗の元にはしつて

「露ほども判じる事は出來ませんね」とマルチニヨが答へた。

慣一は遠るせない心を抱いて外に出てた。たがれの野は淋しく向の山の端に淡い半片の月にも凋落の秋と思われる。此の二三日心が矢鱈にいらだつて、今まで味つた事もない精神のなやみを、どうする事も出来なかつた。空飛ぶ小鳥にも淋しさはわき、見えぬ何者にかひきつけられてちつとかんがへる時が多くなつた。

慣一が早苗を知つたのは、二年前の珈琲の實取りの時であつた。別れの紹介で知つたのだ。

彼の女は肉附の豊かな、そうして久しく逢わなかつた友を訪ねて、K町のフワゼンダに行つた、その時

人普より大きい目、すすいひさみの持主であつた。むつりとふくらみを持つた胸部、長い黒髪にも處女らの香りがみちて居た。妻に別れて淋しい生活を続けて来た慣一は、又あ

慣一は十九の春、良縁を得てせい子と結婚してから樂し、ホリーモンを夢見てブライルに來た。その愛妻の妻ははななく他界の人となる。人生の悲痛と悲惨を人一倍味つた、彼

それでも慣一は結婚しようとも思つた。慣一は心の奥に求めて居る感物を否定する事が出来なかつた。

初めて會つた早苗に恋をした彼は、丁度萬物が地獄の地軸に向つて、或大きな力でついけられる様に、心はいつも早苗の元にはしつて

「露ほども判じる事は出來ませんね」とマルチニヨが答へた。

## 奴隸の娘

(五)

ベルナルド・ギマラエス作  
著者：山口朝一郎譯

トニー・キヤ雀

眼醒める椰子

イントロダクション

トニー・キヤ雀

薄もいの陽炎

乳白のうす霧

葉に静に雄花に

めたく眼醒めた性の委れば

情熱は極度に燃えさかりて

薄もいの陽炎

乳白のうす霧

葉に静に雄花に

お父さんは

## 立派な佛様となります

潜水艦殉難者の遺書

血を吐く最後の言々句々

三月十九日佐世保沖で殉職した四十三潜水艦乗組員の遺書は四月廿二日午前十時佐世保鎮守府で発表された、言々句々全く涙なくしては讀めない、遺書中に誤字、脱字等が多々あるがその原文のまゝ載せる

機関兵曹長穴見儀一郎氏は優秀な准士官で上下の信頼極めて厚く遭難の際にも小川機関大尉、市村機関中尉と働き、かの電話器には主として此人が付いてゐたのであるが機関長の命とは云ひ乍ら

其指揮は實に瘁い處に手の届いた然も堂々たるもので、死に面して從容たりこそ實に此人であらう、左記に穴見機関兵曹長の遺書である

謹んで兩院へ皇太子殿下に白書を誰んぞ、兵員を電動機室を立てたが洩水多く九時二十分なり、沈没し幾度か生れ更つて報國せん、午前八時四十五分發令所に大なる震動あり確かに衝突せしものと認む、これと同時に管制室より隔壁を立てたが洩水多く九時二十分なり、沈没しメーンスヰッチ切斷しポンプを利用せんとするも不可能なり機關室

洩水共に兵員を電動機室に移す只今時二十分なり、沈没の前尚電動機は全速力で運転あり他艦より水申中信号盛んなり、より他艦より水申中信号盛んなり、只今三時五十分なり、タンクより海水逆流す、自分は明き瀧させし苦なり、只今三時三十分なり、後部ハサチの處にて人の通する音が聞こえたるを以て艦内より應答せり

忠勇なる部下は最後まで苦働くました、一同國のためには死す又本望、部下の遺族に對し何分のあはれみを垂れ給へ、沈没より今までの状況は穴見兵曹長をして詳しく述べかしめた、今午後四時四十五分

司令塔電話中呼呼吸困難なり、艦長は如何せられしや心配なり、死に直面し感心するは各員の懸念たる態度なり、又事も半氣なり異聞な爲め

天皇陛下萬歳、午後七時、今が最後なり、さらば、まだ死せし者なし、但し苦しい、遺書を讀まれん事を望む

愛兒の爲めに、機関長より專修學生の卒業生は機関局長より專修學生の卒業生は机上の空論に走る事を同一耳にせり、殘念に思ふ、吾れ無能なれば此際に於てこれを忘れず大に奮闘努力せり御安心あれクラスメート同年兵よ、吾れ海底の鬼と消ゆるども靈魂は再來し大に護國せん

機関兵曹長鬼塚定治氏は穴見機関兵遣ひ又愛兒のために振假名付の遺書を認め讀む者只涙あるのみである九三加賀丸は六月十日に大阪商船のマニラ丸は十日布哇丸十二日出帆と確定し殆んど全般を収容することとなつた

岡山市外高島公園の設備については、岡山縣では海の公園開園

米國へ臨時移民船

岡山市外高島公園の設備については、

なんであるが海軍機関の調査は十六七所に及ぶ、全國中國支那の調査は第一回である。

ついで第三回の調査を有する事である。

司令塔電話中呼呼吸困難

難なり、艦長は如何

せられしや心配なり、死に直面し

感心するは各員の懸念たる態度なり、又事も半氣なり異聞な爲め

よ、字も書けぬ

り、又事も半氣なり異聞な爲め



